

広報

# うわじまちくしょうぼう

## 第54号

宇和島地区消防本部  
宇和島地区防火協会



火災予防運動期間  
平成16年3月1日(月)～  
平成16年3月7日(日)

### 管内の火災 昨年は四〇件

当消防本部管内で、平成15年中発生した火災の総件数は、40件でした。内訳は、次のとおりです。建物火災26件、林野火災1件、車両火災6件、その他火災7件となっています。総件数では広域消防発足以来で最も少ない発生件数です。

出火原因は、放火・放火の疑い5件、電気機器5件、電気配線3件、ストーブ3件の順となっています。

※昭和54年広域消防発足



### 広見分署 多目的4輪駆動車配備



消防署広見分署では、軽四輪自動車(広報車)の更新時期にあわせ、本年度、山林火災・広域災害時に物資及び人員を効率的に搬送できる多目的の四輪駆動車を配備しました。

なり、全国平均の39%を大幅に上回る状況となっています。事故種別では、急病2千4百72件が全体の61%を占めています。市町村別では、宇和島市2千3百87件、広見町4百87件、津島町4百54件、吉田町3百60件、三間町百90件、松野町百40件、日吉村35件の順となっています。



### 管内の救急過去最高

平成15年中の管内における救急概要は、出件数4千59件となっています。昭和54年の広域消防発足当時から比べると倍の出場件数となっています。中でも65歳以上の高齢者の搬送人員は全体の57%

### 危険物 ガソリン

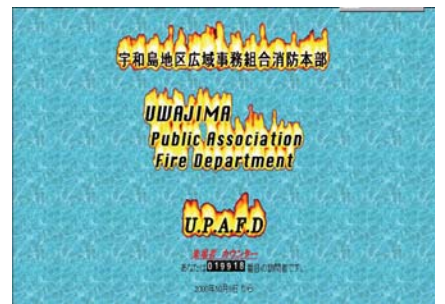
消防法では、販売店が灯油専用のポリ缶に灯油以外の燃料を入れて販売することを禁じています。購入者もガソリンを一定量ポリ缶で購入したり、運搬・保存してはけません。

ガソリンの運搬・保存はどうすればいいのでしょうか？最近では鋼板製のガソリン携行缶が発売されているので、それを利用するのも一策です。防錆処理が施してあり、開閉が楽で気密性の高いドラム構造の口金のあるものがあります。詳しくは、消防本部又は販売店に相談しましょう。

最近、セルフガソリンスタンドが増えてきました。昨年4月にセルフガソリンスタンドでの火災が2件、兵庫、新潟両県で発生しました。いずれも給油前に車の給油口のキャップを開けた際に起こりました。原因は噴出したガソリン蒸気に静電気火花が引火した可能性が高いと言われています。この2件の共通点は、車体の給油口の「ふた」を開けた人と、給油口の「キャップ」を開けた人が別々であったということです。通常車体の給油口のふた(車の金属部分)に触れると人体にたまった静電気は除去されるので、引火の可能性は低いと考えられています。しかし、給油作業を複数で行うと、キャップを開ける人の静電気の除去が十分でない場合、火災発生の危険があります。ガソリンは生活に身近な製品であるため、気軽に扱ってしまいがちですが、その危険性を十分考えて行動してきましょう。



### 消防ホームページ



防年報の紹介、講習会等の案内を見る事が出来ます。また、その他各種届出書等のダウンロードが可能です。

<http://www.119.uwajim.ehime.jp/>

宇和島地区  
広域事務組合  
消防本部は、平成12年からインターネットによるホームページを開設しています。車両等の紹介、消

# 宇和島市地震津波初動訓練

宇和島市民1万3千299名参加

平成15年10月26日



三島神社避難状況



榊崎会場訓練状況



市役所全身体験コーナー

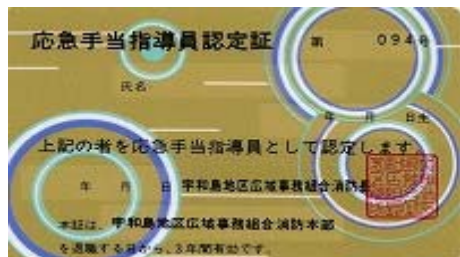


婦人消防団吹き出し訓練状況

日頃の備えを万全に！

## 遊子婦人防火クラブ 救命救急講習会実施！

平成16年1月27日(火)  
遊子婦人防火クラブは、遊子公民館で、救命救急講習会を実施しました。48名が参加し6班に別れ、熱心に受講しました。  
傷病者の救命は、速やかな応急手当、救急隊員の応急処置と搬送、医療機関での処置の三者の連携が不可欠の要素です。



- 津島町 1月17日(土) やすらぎの里駐車場  
通行人等 約百名への体験・見学及び啓発
- 吉田町 1月15日(木) 吉田町役場前  
通行人等 約百名への体験・見学及び啓発
- 吉田町 1月17日(土) スーパーセンターリッチ広見店  
通行人等 約2百名への体験・見学及び啓発
- 宇和島市 1月16日(金) グランヴェスタ北宇和島店  
買い物客等約6百名への体験・見学及び啓発
- 廣見町 1月17日(土) 約百名への体験・見学及び啓発

## 防災とボランティア週間

全国一斉に、平成16年1月15日～1月21日の一週間「防災とボランティア週間」が実施されました。この催しの目的は、阪神淡路震災を教訓として、日頃より防災に関心をもっていたること、大規模災害が発生した場合は、自助、共助が大切であることを普及することです。当管内では、期間中4箇所で開催しました。